



世帯数 5,949戸
人口 14,129人
(令和1.11.1現在)

寿地区住民運動会 記録づくめの令和元年度運動会

令和元年度寿地区住民運動会が、10月20日(日)に寿小学校の校庭で開催されました。

前日の準備中ではどしゃぶりの雨が降り、当日の6時から競技役員総出で準備が行われました。雨も上がり、曇り空、風もなく、地面もしつとりと湿って、絶好の運動会日和となりました。

総勢867名の参加者によって「玉けり」「綱引き」「年代りレー」など14種目が賑やかに行われました。

小池町会が ダントツで1位を制す

例年優勝争いは接戦でしたが、今年はいは「たる回し」で小池町会がトップに立つと最後まで独走し、2位に21点差をつけて優勝しました。

【総合順位】

1位	小池	115点
2位	竹淵	94点
3位	百瀬	93点
4位	豊町	92点
5位	赤木	92点
6位	寿田川	88点
7位	寿田町	88点
8位	上瀬黒	76点
9位	白姫	75点
10位	竹原町	70点
11位	下瀬黒	61点
12位	白川	61点



●合計点の同点が3組発生

92点・88点・61点がそれぞれ2町会ずつあり、総合順位は「早く注ぎ込め」の順位で決定されました。

●竹淵・豊町、大健闘

竹淵町会、3位より1点上回って2位、豊町町会、3位と1点差で4位(かつ、92点の同点ながら、早く注ぎ込めで4位)と大健闘でした。

●百瀬町会、綱引き敗れる

綱引きと言えば、百瀬町会のお家芸で、連続1位が続いてきたのですが、Aブロック決勝で上瀬黒町会に接戦で敗れました。参加者全員が土を踏みしめ、力の限り縄をひっぱって競い合いました。

●玉入れの3町会

合図とともに頭上にある籠に向かって一斉に玉を投げました。偶然にも、1位から3位の小池・竹淵・百瀬の3町会がD組で一緒でした。



●早く注ぎ込め練習の成果

お椀に汲んだ水をこぼさないように運び、レース途中の瓶に注ぎ込んでいっばいにする競技。1位豊町、2位白姫、3位竹淵と、例年あまり上位に出てこない町会が結果を出しました。

●練習が大事

球けり、たる回し、玉入れ、大縄跳び、綱引き、早く注ぎ込め、各競技は、練習すれば上達する競技です。来年はより接戦になることが期待できます。

●接戦の玉けり

大きなネットにバレーボール程のボールを2個人蹴ってリレーをする競技。ネットの中で2つのボールが動くので、ただ蹴るだけではなかなか前に進むことができません。スタート時はボールがまっすぐ進まず、各選手は苦勞しながら進むも、徐々に慣れていき、ペースがアップ。リレーが進むにつれ、接戦した競技となりました。



●ながーいのが好き

たくさん穴が空いた段ボール箱にセットされたビニールひもから1本だけ選んで引き抜き、ゴールを目標すりレー競技。ゴールでは選手が持つてきたビニールひもをつなぎ合わせ、一番長い町会の勝ちとなります。ビニールひもは長いものもあれば短いものもあるので、運の勝負です。老若男女間わない競技といこともあり、長いひも、短いひもが出るたびに歓声が沸き、みんな笑顔で楽しんでいました。



●パン食い競争

運動会の定番、パン食い競争。今年は何点種目とし、見えないようにパンに点数を貼って運勝負の競技となりました。運動会では34名の筑摩



1位…下瀬黒 2位…赤木 3位…寿田町

館報編集委員 清水壽雄、青木敬次郎、藤田祥子

第8回寿地区福祉の文化祭

「この街に生きて」

令和元年9月18日(水)に第8回寿地区福祉の文化祭が寿体育館で開催されました。毎年寿地区文化祭の前日に開催されていますが、今年度は寿公民館トイレの改修工事があり、9月の開催となりました。



福祉の文化祭は、寿地区福祉の文化祭実行委員会を主催とし、誰もが暮らしやすい街づくりを進めていくため、寿地区の住民や福祉に関わる方、そして障害のある方々が世代を超えて交流を深めることを目的としています。交流することでお互いを知り、互いに足りないものを補い合える「お互いさま」の心を地区全体で育んでいくことを目指します。



の生徒の8団体が出展しました。オープニングセレモニーでは「福祉の文化祭、始まるよー!」という施設代表の利用者の方々の元気な声にあわせ開会宣言がされました。開会宣言の後には「みんなの交流タイム」が設けられ、中央ステージで福祉の文化祭テーマソング「この街に生きて」を来場者が合唱。続いて会場いっぱいには円となり、笑顔でコムサンバを踊り



ました。来場者からのアンケートもあって、会場は大盛り上がりとなりました。各施設ブースでは、施設利用者の制作物や活動を紹介する展示が行われたり、クッキーなどのお菓子の販売がされたりしました。各ブースでスタンプを集めると景品のお菓子ももらえるスタンプラリーも行われ、会場をまわる方や展示品を興味深そうに観賞する方、施設利用者や職員と触れ合う人々にぎわいました。



変わる 図書館のイメージ
8月26日(月)、寿公民館図書委員会主催の「小布施町立図書館まちとしょテラソ」訪問へ参加しました。
当日の天候は良好で、参加者19名で一路小布施町へ。最初に多目的室で図書館の開設理由・目的等の説明を受けました。以前は町役場の3階にあり利用しづらかったこと、2004年に「新図書館構想」の公約を掲げた町長が当選したこと等により、この図書館が完成したそうです。
さて、図書館内の見学です。町役場庁舎と小学校のグラウンドに隣接して建っている、三角形を變形させた平屋建てでワンフロア約1000㎡の建物です。白を基調とした本棚や机、椅子。壁いっぱい窓、大きなワンルームのような館内は明るく、勉強する人、ゆったりと本を読む人、思い思いに空間を楽しんでいるようです。
昼食は、桜井甘精堂で一茶御膳をいただき、午後は小布施町内自由散策をしました。
【館報編集委員 清水壽雄】



ふれあい会食会へ
秋晴れの10月、65歳以上の一人暮らしの皆さん56名をお迎えし、10月3日(木)にふれあい会食会が開催されました。
ふれあい会食会は寿社協、民生・児童委員協議会、健康づくり推進員会、福祉ひろばが運営し、一人暮らしの方をおもてなします。第一部は寿に居住する歌姫「峰ちはる」さんの歌謡ショー。
皆さんがよく知る歌で、楽しんでいただきました。
第二部の会食会は、公民館改修工事で厨房が使えないことから、今年は試食会を経て飲食店「瑠璃」に華弁当ときのこ汁を作ってもらい皆さんで賞味しました。
参加者からは「歌も良かったですし、弁当も美味しく完食しています。」とお話をいただきました。
【寿社協コーディネーター 遠藤勝弘】

